

## 安全面・コスト面を考慮して携帯電話からmcAccess eに移行。GPS搭載により、稼働率もお客様の信頼もアップしました。

改正道交法施行前にmcAccess eを導入。

効果は期待以上で、コストダウン、稼働率アップといいことづくめです。

### インタビュー

「GPSのおかげで、お客様からの急な変更・依頼にも即答できます」

有限会社迫運輸サービスでは、乗務員との通信手段として携帯電話を使用してきましたが、安全面・コスト面から見直しを検討していたところ、平成16年11月に改正道交法が施行されることになりました。そこで、



●「コンビニに入っているのも把握されてるんですよ(笑)」と乗務員さん。

中も通信できるmcAccess eに移行し、GPS機能も付加。東北初のmcAccess eにおけるGPS導入でした。mcAccess e導入の効果は期待以上のもので、

通信コストは3分の1以下になりました。さらに絶大な効果があったのが、GPSにより車両位置と走行状況の把握・管理が可能になったこと。お客様から急な依頼や変更があったときも、いちいち乗務員に確認しなくても即答できます。また、お問い合わせには「今、〇〇を通過中ですから、あと10分で到着できます」などと正確な時間をお伝えすることができるようになり、お客様にも仕事の段取りをつけやすくなったと、喜ばれています。その結果、

同社の稼働率に加え、お客様からの信頼も上がりました。乗務員にとっては、いつも把握・管理されて不便かも知れませんが、会社の業績が良くなれば、従業員にも跳ね返ってくると理解してくれているそうです。



●お客様のご要望に合わせた効率の良い配車に役立っています。

ところで、無線には雑音が入るものという先入観があったとのことですが、

mcAccess eでの通信中に雑音が入ることはほとんどないとか。遠方においても、デジタルならではのクリアで美しい音声で通信できるため、運転中の注意力低下防止にも役立っています。

未開通だった一関以北のサービスも始まり、現在では、同社の稼働エリアを広くカバー。そこで、同社では11局から28局に増設しました。いずれはデジタコとの連携で、運行状況の把握や積荷の温度管理等庫内管理を行い、効率的な業務運行を行いたいと考えています。



●ハイパースピーカーマイクを利用。使いやすく高機能です。



●有限会社迫運輸サービス 代表取締役 渡邊勝広さん。



●GPS画面。車両位置がわかるので、日常業務も管理もしやすくなりました。

### Point

#### ●通信コスト大幅削減

利用料は月々の定額制。携帯電話と比べ、通信コストが1/3以下と、大幅に削減できました。

#### ●GPSで車両位置・走行状況が一目瞭然

GPS導入により、車両位置と走行状況の把握・管理が可能。お客様からのお問い合わせにも即答できます。

#### ●デジタルならではのクリアな音声

雑音がなく、クリアで美しい音声。運転中の注意力低下も防止できます。